

イネいもち病対策は万全ですか？

梅雨明け後の高温傾向から一転して8月中旬から低温・多雨・低日照傾向が続き、いもち病の発生が助長される条件となっています。県南部では、晩生品種が出穂期を迎えています。穂いもちに対する防除対策に万全を期してください。

穂いもちに対する液剤・粉剤による防除のタイミングは出穂直前及び穂首出揃期の2回散布が基本ですが、葉いもちが多発するなど穂いもちの多発生が懸念される場合は、さらに傾穂期の散布を追加してください。

<防除上の参考事項>

- (1) 葉いもちは穂いもちの伝染源となるので、特に葉いもちの発生が確認される圃場では防除を徹底する。

表 主な防除薬剤（下記単剤の他、下記成分を含む混合剤）

薬 剤 名	農薬使用基準		
	使用時期	使用回数	希釈倍率・処理量
ラブサイド粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3～4 kg/10a
ラブサイドフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	1,000～1,500 倍
ビーム粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3～4 kg/10a
ビームゾル	収穫7日前まで	3回以内	1,000 倍
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3～4 kg/10a
ブラシン水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000 倍
ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000 倍
ノンブラス粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3～4 kg/10a
ノンブラスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000 倍

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

岡病防第15号
平成27年9月11日

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

植物防疫情報第5号の発表について

植物防疫情報第5号を別添のとおり発表したので送付します。